

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	舞鶴ロードレース大会inルピナス			基本目標	スポーツランドの推進		
担当課(局)・係	社会教育課	社会体育係	記入者	岩佐 康司	評価者	三嶋 俊宏	開始年度 S48 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 小学生以上を対象(町内外を問わず) 意図・目的 健康・生涯スポーツへの関心を高め、明るいまちづくりに寄与する。							
事業の内容	例年、3月第1日曜日に県立農業大学校・ルピナスパークにおいて、小学生以上を対象に舞鶴ロードレース大会を開催する。町民だけでなく、広く町外にも参加者を募集する。 【※平成22年度(平成23年3月6日(日))大会は、準備を進めていたが、『鳥インフルエンザ発生、新燃岳爆発的噴火による降灰』に伴い、大会約1カ月前に中止となった。】							
22年度決算額	170千円	23年度予算額	442千円	事業従事者数	H22 0.13 人	H23 0.34 人		
主な支出項目	報酬・報償	45千円	国庫支出金	千円	22年度人件費	921千円		
	買上金	54千円	県支出金	千円	23年度人件費	2,398千円		
	需要費	5千円	地方債	千円	23年度予算額における一般財源の割合(H23)	93.2	%	
	賃金	49千円	一般財源	412千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください			
	高鍋町体育協会補助金	17千円	高鍋町体育協会補助金	30千円				
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A 円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円	終期 年度
		団体の決算額	#N/A 円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等				
		補助の割合	#N/A %					
繰越額		#N/A 円						

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 参加者数	PRを工夫し、参加者の増加に努める。
	2 イベント(出店)	農業大学校、町地場産業振興会と連携し、出店(農大主催)を計画する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 会議回数	実行委員会を年1回開催。開催前に、必要に応じて、関係団体と十分事前協議を行う。
	2 広報活動	お知らせ高鍋・町ホームページに掲載。宮日に掲載依頼。東西小中学校及び昨年一昨年参加者へ案内文書送付。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	参加者数	目標値	430	430	430	
		実績値	398	中止		
		達成率	%	92.6%	#VALUE!	
	イベント(出店)	目標値	回	-	-	-
		実績値	回	出店	中止	
		達成率	%	#VALUE!	#VALUE!	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		
活動指標	会議回数	目標値	1	1	1	
		実績値	1	1		
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	広報活動	目標値	回	4	4	5
		実績値	回	6	6	
		達成率	%	150.0%	150.0%	
0	目標値					
	実績値					
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!		

事務事業名	舞鶴ロードレース大会inルピナス	担当課(局)	社会教育課
-------	------------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必 当 性 性) 町民の健康増進と体力向上を目的としている為、各関係団体の協力を得ながら町が行うことが妥当であり、廃止することは目的に反すると考える。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 毎年参加者が多く、町民の健康増進・体力向上並びにスポーツ振興に繋がっている。 現在、農業大学校・ルピナスパークで開催しているが、『口蹄疫』発生に伴い、農大敷地内「牛舎・飼料畑」付近が立入規制区域となった為、各関係団体と協議し、コースの変更を行った。	◎目標に対して成果は得られているか	2	-
	◎すでに目的は達成されていないか	1	-
効率性 平成22年度は「中止」となったが、各関係団体との事前協議、実行委員会、コース変更協議・決定等スムーズに行われた。 35回大会から、町職員にボランティアを依頼し、競技団体への負担の軽減を行っている。 事務量が多い中、事務効率化には努めているが現状は厳しく、時間外勤務に繋がっている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	2	-
協働性 口蹄疫(防疫体制の強化)により、コースが以前より複雑となったが、競技運営をよりスムーズに行う為、更に競技団体、体育指導委員及び農業大学校との協働をはかる必要がある。 大会時の出店(うまい館周辺)を更に充実したものにする為、出店主催である農業大学校(研修センター)と町地場産業振興会との連携を更に深める必要がある。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	2	-
合計(最高18点)		17	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公 益 平 性 性) 町民の理解が得られる事業であるか	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	評価内容	今後の方向性			
		拡充	現状維持	縮小	廃止
	◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等 小学生から中高年まで参加でき町民のみならず近隣市町村住民の体力増進に貢献している。また、大会時に農業大学校(研修センター)と町地場産業振興会が出店するなど、まちおこし事業のひとつともなっている。まいづるカード会から協賛の話もあり、さらに活性化するものとする。		○		
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎伝統ある大会として位置づけられてきている、実施していくべきである。 ◎協賛企業による参加賞などの助成を拡大してほしい。 ◎毎年400人程度の参加者がおり、定着した事業であるので継続するべきである。 ◎参加者の内大人は1割程度であるので、コース設定や物産販売など大人が集まる大会への検討をお願いしたい(町外者も呼び込む)。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	